



議会だより

2021年1月22日発行

No.218

Tsunan-Town

12月定例会 12/9～11

議長あいさつ	02
臨時会、条例制定・補正予算	02～03
採決結果	04
一般質問～町政を問う	05～11
人事	11
発議・陳情	12
委員会レポート	13
令和3年度建策要望事項	14～15
町民登場	16

つなまち

疫病退散を願う



津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹

[写真] 赤沢集落の松焼

新年の挨拶

津南町議会議長 吉野 徹



皆様、明けましておめでとございます。

健やかに新年をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、年明けからの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちの生活様式が一変した年でした。全国一律の緊急事態宣言、学校の一斉休校、外出や営業の自粛要請など今まで経験したことのない出来事が起きました。また、東京オリンピックも1年延期されました。

津南町では、例年にならない暖冬・小雪の中で夏場の水不足が心配されましたが、例年よりも早く春作業がスタートしました。

夏場、長雨の影響により日照は少なかったものの全般的に高温多湿で経過し倒伏が増えましたが、水稲作柄は平年と比較して良、畑作は収量が低かったものの単価はやや高く推移しました。新型コロナウイルスの影響で業務用米の需要の減少等による価格の下落、花卉の需要減少、また、宿泊業、飲食店を中心とした商工・観光業においても大幅な利用客の減となり、大変厳しい1年でした。

国際情勢では、全世界での新型コロナウイルス感染症拡大により、WHO（世界保健機関）がパンデミック（世界的流行）を宣言し、各地で都市封鎖などの処置が取られ、ヒト、モノの流れが止まり、世界経済全体が停滞しました。

また、米中の対立をはじめ、イギリスのEU離脱、香港の

第4回臨時会（10月6日）

一般会計（補正第8号・専決）

補正額 574万円
総額 81億8,039万円

歳入

地方交付税 574万円

歳出

衛生費 574万円

高齢者インフルエンザ予防接種等委託料

建設工事委託契約の締結

浄化センター汚泥脱水機の更新、処理設備、電気整備工事に関する工事契約（令和2・3年度継続事業）
契約総額 3億2,900万円
契約先 日本下水道事業団

第5回臨時会（11月30日）

津南町議会の議員の報酬、津南町特別職の給与、津南町職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
期末手当0.05ヶ月の減額

一般会計（補正第9号）

補正額 130万円
総額 81億8,169万円

歳入

地方交付税 90万円
衛生費国庫補助金 40万円

歳出

総務費 グリーンピア運営支援基金積立金 50万円

衛生費

新型コロナウイルス感染症検査委託料 80万円

新規福祉施設入所者等に対するPCR検査を津南病院に委託

民主化を求めるデモ、アメリカ大統領選挙の余波など、依然不安定な情勢が続いています。

国政では、7年8か月続いた安倍内閣が退陣し、9月に菅内閣が発足しました。

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により内外需ともに急速に悪化し、回復のきざしは見えていないのが現状です。国・県また町においても経済対策として様々な施策が実施されており、一刻も早い景気回復を願っているところです。

町政関係では、長年の懸案である保育園関係で、第1回定例会においてひまわり保育園増築にかかる実施設計予算が賛成多数で可決され、実施設計が進められています。

人口減少、少子高齢化、過疎化が進む中で、病院、保育園、ごみ処理施設、公共交通体系など、課題は山積しており、早急な対応が求められています。また、税収の落ち込みや国からの交付金の減少等が予測され、より一層厳しい財政運営が予想されます。

一方で昨年11月には、津南中学校陸上部が新潟県中学校駅伝大会に出場し、男子は優勝、女子は3位というすばらしい結果を残し、その雄姿は町民の皆さんを元気にさせるとても明るい話題となりました。

町政を取り巻く課題、環境は厳しい状況ではあります。議会としても町当局と一体となって諸課題の解決に向けて努力する所存であります。

議会では今後も、年4回定例会時のインターネット中継をはじめ、議会報発行や議員活動などを通じて、より町民に寄り添った身近な議会となるよう、様々な取組を検討、実践してまいります。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息と今年1年が、町民の皆様にとりまして、良き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

第4回定例会

(12月9日～11日)

一般会計(補正第10号)

補正額 2, 104万円
総額 82億273万円

歳入

国庫支出金 2, 125万円
県支出金 529万円
財産収入 △1, 500万円
ふるさと支援まちづくり寄付金 4, 000万円

歳出

教育費寄付(個人) 120万円
繰入金 66万円
繰越金 △3, 346万円
諸収入 110万円

総務費

ふるさと支援基金積立金増(ふるさと納税) 4, 000万円
二ユー・グリーンピア運営支援基金積立金 △1, 500万円

コロナ禍による収入減に関して貸付料を減額したため基金積立を減額した。
ふるさと納税事務委託料 2, 000万円

民生費

介護保険・後期高齢者医療特別会計 417万円
繰出金 417万円

農林水産事業費

鳥獣被害対策実施隊報酬、県単農林機械導入補助 386万円

教育費

遺跡調査等 504万円

国民健康保険特別会計

補正額 184万円
総額 10億212万円

後期高齢者医療特別会計

補正額 54万円
総額 1億3, 565万円

介護保険特別会計(第3号)

補正額 428万円
総額 17億9, 782万円

下水道事業特別会計(第2号)

補正額 2, 628万円
総額 5億2, 065万円

農業集落排水事業特別会計(第2号)

補正額 △3万円
総額 3億159万円

病院事業会計(第4号)

補正額 774万円
総額 774万円

感染症対策等消耗品、ほか

議会採決結果 第4回臨時会（10月6日）

議案番号	件名	採決結果
承認第10号	専決処分の承認について（令和2年度津南町一般会計補正予算（第8号））	全員賛成で承認
議案第64号	建設工事委託契約の締結について（津南町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託）	全員賛成で可決

第5回臨時会（11月30日）

議案番号	件名	採決結果
議案第65号	令和2年度津南町一般会計補正予算（第9号）	全員賛成で可決
議案第66号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成11反対2）
議案第67号	津南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成11反対2）
議案第68号	津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
発議案第12号	津南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の提出について	全員賛成で可決

第4回定例会（12月9日～11日）

議案番号	件名	採決結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	全員賛成で適任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	全員賛成で適任
同意第22号	津南町固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	全員賛成で同意
議案第69号	津南町議会議員及び津南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第70号	津南町議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第71号	津南町督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第72号	津南町営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第73号	津南町高齢者コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第74号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第75号	津南町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第76号	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第77号	津南町小規模企業振興基本条例の制定について	全員賛成で可決
議案第78号	津南町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第79号	津南町公共使用者登録団体による公共施設の使用に関する条例の制定について	賛成多数で可決（賛成9反対3）
議案第80号	財産の取得について（避難所用移動式冷暖房器具）	全員賛成で可決
議案第81号	財産の取得について（市町村有償運送車両）	全員賛成で可決
議案第82号	令和2年度津南町一般会計補正予算（第10号）	全員賛成で可決
議案第83号	令和2年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	全員賛成で可決
議案第84号	令和2年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第85号	令和2年度津南町介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛成多数で可決（賛成10反対2）
議案第86号	令和2年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	全員賛成で可決
議案第87号	令和2年度津南町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成で可決
議案第88号	令和2年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成で可決
議案第89号	令和2年度津南町病院事業会計補正予算（第4号）	全員賛成で可決
議案第90号	津南地域衛生施設組合規約の変更について	全員賛成で可決
発議案第13号	拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書の提出について	全員賛成で可決
発議案第14号	防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書の提出について	全員賛成で可決
発議案第15号	日本政府に対し、「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書の提出について	全員賛成で可決
陳情第5号	自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情	賛成少数で不採択（賛成3反対9）
陳情第6号	新型コロナウイルス禍による米価下落対策に関する陳情	全員賛成で趣旨採択
発議案第16号	新型コロナウイルス禍による米価下落対策に関する意見書の提出について	全員賛成で可決
陳情第7号	高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める陳情	全員賛成で採択
発議案第17号	高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書の提出について	全員賛成で可決

スバク 町政を問う!!

一般質問(12議員)

- 1** **草津 進** 議員 (5ページ)
1. 津南町台所財政状況について
2. 農業の振興策について
3. 芦ヶ崎小学校、上郷小学校の統合について
- 2** **小木曾茂子** 議員 (6ページ)
1. 町防災避難計画の今後について
2. 移住定住対策について
3. 「自然資源・文化資源保護憲章」の制定について
- 3** **村山道明** 議員 (6ページ)
1. 新潟県立津南中等学校の町支援策について
2. 新型コロナウイルスに関する差別や偏見、非難について
3. 苗場山麓ジオパークにおける観光振興について
- 4** **恩田 稔** 議員 (7ページ)
1. 鳥獣被害対策について
2. 移住・定住の取組について
- 5** **筒井秀樹** 議員 (7ページ)
1. 今後の財政状況の展望と経済対策について
- 6** **関谷一男** 議員 (8ページ)
1. 除雪体制について

- 7** **桑原義信** 議員 (8ページ)
1. PCR 検査の実施について
2. 75歳以上の医療費 2割負担について
- 8** **桑原洋子** 議員 (9ページ)
1. 新型コロナウイルス感染症拡大の中での町の対応を問う
2. 津南病院の維持と病床の確保について
- 9** **久保田等** 議員 (9ページ)
1. 人口減少問題に直結する「女性人口の増加」対策について
2. 兼任の集落支援員を学区毎に配属する考えはあるかについて
3. 「地域未来留学」という制度ができたが取り入れの検討について
- 10** **滝沢元一郎** 議員 (10ページ)
1. まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- 11** **風巻光明** 議員 (10ページ)
1. 国が進めるデジタル化に対し町の課題と取組について
2. 町のシステム処理や電算機事務処理等の委託の内制化について
- 12** **石田タマ子** 議員 (11ページ)
1. 上郷逆巻地区の振興計画について
2. 津南中等教育学校の支援策について
3. 保育園増築後の定員について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

通年農業経営で若者の定住を

新しい農業経営を実践していくため、新たな作物の計

農業振興で若者の定住を

町長 必要な財源確保に努めている。新年度予算編成にあたり、各課に対して今年度一般財源べ

人口減、税収減対応と財源確保を



草津 進 議員

町長 必要な財源確保に努めている。新年度予算編成にあたり、各課に対して今年度一般財源べ

画経営指導は成されているか。町長 県外の農業法人と町内の農業法人の連携により、新規品目について検討していく。

芦ヶ崎小、上郷小の統合検討は

町長 人口減少で児童が極端に少なくなつた現状、学区内

教育長 それぞれの地区にお

て住民の意識調査や説明会をやつてきた。今後、保護者や地区住民から声が出てきたら協議していく。



竜神太鼓 30周年記念植樹

議長あいさつ

臨時会 条例制定 補正予算

採決結果

一般質問 町政を問う

人事

発議 陳情

委員会 レポート

建築要望事項

災害の頻発、激甚化に備えて避難所の整備を

町長 コロナ禍での準備は万全か。分、段ボールベッド1200台を確保。追加発注している。感染者は別施設、発熱者も隔離する方向で検討している。

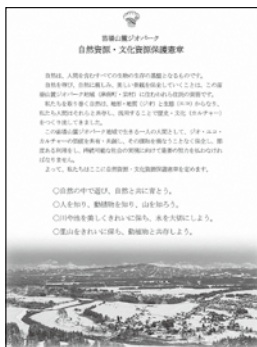
町長 複数の公民館など耐震構造不足、土砂災害等危険箇所が指定避難所とされ、車いす等で利用できない施設もある。収容人数も過密に設定されている。

総務課長 見直しを進める。

町長 直接死の3、4倍という関連死を減らすために、地域では顔の見える関係を保ち、訓練も実施する必要がある。備蓄品など予算をかけて準備を。



小木曾 茂子 議員



ジオパーク 自然保護・文化資源保護憲章

総務課長 地区アンケートを実施中。共に対策を練る予定。

移住勉強会の成果は

町長 年に10名の移住者受入れを目標とするが、可能か。

町長 役場横断的プロジェクトチームを組んで取り組む。出生数を増やすために出合いサポートや保育を充実、若者たちの活力ある町にしていこう。

ジオパーク憲章の周知など

町長 「自然資源・文化資源保護憲章」が制定されたが周知はされているか。自然保護条例を制定し、保全に努める予定は。

教育長 栄村と共に広報した。条例制定には調査の必要や困難があり、まだ予定はない。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

単独支援に町民理解が得られるか

町長 町にある高校を大切に自治体として支えて行くことが長い視点で津南町の発展に寄与してくれる。そこで、支援策は4点、①通学費助成。前期課程

町長 町にある高校を大切に自治体として支えて行くことが長い視点で津南町の発展に寄与してくれる。そこで、支援策は4点、①通学費助成。前期課程

② 存続について新潟県知事に要望をしたと思うが、知事の確認や確約成果はなにか。

③ 支援は、町が単独先行でなく十日町市や南魚沼市等と協調しながら支援策を検討すべきであるがどうか伺う。



村山 道明 議員

中等校存続に対する支援は

なぜ津南が単独で支援するのか。来年度予算で数百万円計上となるが、魚沼地域自治体と協議すべきではないか。

① 津南中等教育学校の町外生徒に対する通学援助等の政策内容と支援を講じたいとする大前提の所見を伺う。

② 存続について新潟県知事に要望をしたと思うが、知事の確認や確約成果はなにか。

③ 支援は、町が単独先行でなく十日町市や南魚沼市等と協調しながら支援策を検討すべきであるがどうか伺う。

町長 町にある高校を大切に自治体として支えて行くことが長い視点で津南町の発展に寄与してくれる。そこで、支援策は4点、①通学費助成。前期課程

② 存続について新潟県知事に要望をしたと思うが、知事の確認や確約成果はなにか。

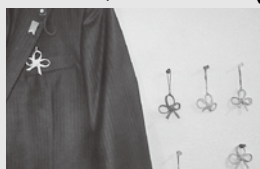
生徒を対象に月額1万円を超える費用を補助する。②アパルト代助成。全生徒を対象に家賃の半額以内で、限度額2万円を助成。③学校支援組織の設立。民間企業、団体、一般賛同者が協力支援する組織の設立準備会議を行った。④中等教育学校と町内小中学校の教員研修の実施。

単独助成の大前提として、良質な教育機関、子育て支援、人口減少対策の存在意義は大きい。県知事との存続確約については、具体的な支援は示されていない。近隣自治体との協調は必要で検討していく。

シトラスリボン運動は

町長 安心してもらおうため情報提供し注意喚起をする。個人情報に配慮し、差別や偏見、人権侵害に留意を周知する。シトラスリボン運動を開始した。

町長 安心してもらおうため情報提供し注意喚起をする。個人情報に配慮し、差別や偏見、人権侵害に留意を周知する。シトラスリボン運動を開始した。



シトラスリボンの輪を広げよう

議長あいさつ

臨時会、条例制定補正予算

採決結果

一般質問と町政を問う

人事

発議陳情

委員会レポート

建築要望事項

鳥獣被害対策について

猟友会への支援について



恩田 稔 議員

問 全国的に農山漁村の過疎化や高齢化が進行し、耕作放棄地の増加や里山における住民の活動の減少がある。生活圏への鳥獣出没の要因は、狩猟者の減少・高齢化に伴う捕獲の低下、さらには里山、森林の荒廃などにより、野生鳥獣の生息環境が大きく変化したことが考えられる。津南町においても様々な鳥獣被害が拡大している。電気柵の設置等で防止することも必要であるが、個体を減らすことが最も重要である。猟友会への助成について、新たな支援策が必要ではないか。

町長 猟友会の意向を踏まえ、鳥獣被害防止に向け、若い猟友会員への増員等に支援



川西地区はイノシシ、ハクビシンが急増している

する。

問 冬期間は人数が減少するため、ドローンを飛ばし、獣を発見することで効率を上げたなどの要望がある。来年度予算に上げられないか。

農林振興課長 県内でも何ヶ所かで実証実験が行われている。その結果を踏まえて検討したい。また、国の鳥獣被害交付金にも該当する点もあり今後、猟友会の意向等もお聞きし対応したい。

問 出勤報酬が一日6千円である。かかる経費、捕獲補助金を勘案してもあまりにも低いのではないか。

農林振興課長 今後若い人から入会してもらうためにも検討したい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

町民の収入が増える施策を

今後の財政状況の展望と経済対策について



筒井 秀樹 議員

問 コロナ禍においてますます国、県も含め財政状況の悪化が見込まれる。

保育園等の建設でも、町民からは「町財政は大丈夫なのか」という声を聞くが、人口減少とコロナ禍の現状を踏まえると今後町民税等の自主財源の減少、場合によっては地方交付税の減少も見込まれるが町としてどう取り組んでいくのか。

自主財源確保のためにも町民の収入が増えるような施策を講じていく必要があるのではないか。

町民の収入が増えればおのずと町の財源も増え、公共サービスに利用できる財源も確

保できるのではないかと。町長 将来につながるよう計画していきたい。町民の安全安心な生活や健康を守っていかなければならない。補助金など必要な財源を確保していきたい。そのためにも町民の収入が増える政策を講じていく必要があるのではという議員のご指摘は私もその通りであると思う。

問 入札や補助金事業でも町内の下請けや、導入業者に町民税が増えるような配慮はしているか。

総務課長 制限付き入札等で町内入札参加可能業者を指名している。

問 キャッシュレス化や、県の三密補助金、GOTO事業等、取組スピードが遅いと思うがどうか。

観光地域づくり課長 細かな要綱が国や県から正式に来るのに時間がかかった。今後は申請代行も含め検討する。



期間延長予定の Go To Eat

津南町の除雪体制について

問 町が保有の除雪車両と実施距離、構成員は何人か、除雪会議は行っているのか。

町長 町の除雪は直営、一部委託で行い、防災計画に基づく交通確保等を機械、消雪パイプで行う。除雪車両は、ロータリー車11台、タイヤドーザー13台、ブルドーザー7台、実施距離は106.46km、構成員は新人6名を含む32名で、9班体制で冬期間の交通確保に務める。除雪会議は毎年12月1日に開き早期交通の確保、各班が受け持つ除雪路線の説明、出勤基準の確認、機械、消雪パイプの点検、また津南交番所長による除雪作業事故防止講話をいただいている。



関谷 一男 議員

除雪体制について

問 除雪を担当して下さる構成員の方に除雪講習会を受講させているのか伺う。

町長 道路除雪の安全管理や効率的な施工技術を習得していただくことを目的に、例年秋に行う除雪機械施工技術講習会に参加するように推奨しているが、全員が受講するに至っていない。危険防止、事故防止が図れるよう講習会の受講を促していきたいと考える。

コロナ対応について

問 感染への対策は

建設課長 構成員は除雪センターに集合せず自宅からの出勤体制をとり、マスク、窓開け換気を徹底する。感染者が出た場合は除雪隊OBで対応する。



懸命な除雪作業

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

感染拡大防止のための社会的検査を

問 全国の経験を研究し徹底した検査体制に

町長 検査が必要な人に必要な検査を行う。当地域は新型コロナウイルス受診相談センターや保健所から紹介があったかたには迅速に検査ができています。12月からは、新たな高齢者施設入所者で検査を希望するかたに実施している。

問 現状2台の検査機器で一日どのくらい検査できるか。



桑原 義信 議員

全国の経験を研究し徹底した検査体制に

問 新型コロナウイルスが急拡大する中、介護施設にもクラスターが発生している。感染拡大防止のために医療機関、介護、福祉施設、保育園や学校、冬到来で除雪要員など定期的な社会的検査を行うべきであるが考えを伺う。

町長 検査が必要な人に必要な検査を行う。当地域は新型コロナウイルス受診相談センターや保健所から紹介があったかたには迅速に検査ができています。12月からは、新たな高齢者施設入所者で検査を希望するかたに実施している。

問 現状2台の検査機器で一日どのくらい検査できるか。

病院事務長 1台で1時間当たり1人。午後1時から2時まで受付し5時までの体制で行っている。

問 町内に感染者は出ていないが、病院はじめ介護施設では、身をすり減らすような厳しい感染対策をし、個人の生活も律している。感染が広がるようなどころは予防的にPCR検査をすべきだ。

福祉保健課長 医療介護従事者については国から通知も出ていて、発熱があるような場合は積極的にPCR検査を実施する内容となっている。通常の医療を守ることで、かつ発熱等の対応ができること、まずここを見極めその先を検討したい。医師会や保健所等と積極的に情報交換し検討したい。



PCR 検査機器が導入された津南病院 広く検査を

議長あいさつ

臨時会、条例制定補正予算

採決結果

一般質問と町政を問う

人事

発議陳情

委員会レポート

建築要望事項

説明尽くすのか建設踏みとどまるのか

現場、保護者の声を聞くべき



栗原 洋子 議員

問 深刻なコロナ禍新保育園建設は踏みとどまるべきだ。最近住民から「やっぱり1園じやまずい。大変になることがわかってきているのか」の声がある。現場の声、保護者の声を聞いているのか。

町長 色々な会でお願いをしている。新型コロナ感染症拡大防止に最大限配慮し、一歩一歩着実に進めてまいりたい。

問 11月全員協議会で教育長は「決まったことを更に反対する皆さんがいるから分断のように見える」と発言した。1園化を決めた議会は必ずしも住民の意向をくんだ議論がされたとは思わない。決まったことに固執し、署名で示さ

れた事など町民の意思を無視し、進めようとするところぞ分断ではないか。

強引に進めるなら一昨年の基本設計の説明以上に実施設計、財源、建設費のことを丁寧に説明する責任がある。その責任を果たせないならコロナ収束まで建設は踏みとどまるべきだ。

町長 議会で説明することが何よりも大事と思っている。執行する立場として、現在、実施設計を詳細に詰めているところ。教育長はそういう事での発言ではないか。将来に禍根を残すことのないよう先送りせず保育環境をしっかりと整えていくことが重要と思っている。引き続き広報周知に努め、あらゆる機会を通じて説明し理解を求めていきたい。



朝の登園時狭い雪道は危ない(病院通り)

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

全国から留学生の受入れの検討を

「地域未来留学生」の受入れを



久保田 等 議員

問 2017年全国の留学先を案内する「地域未来留学」という取組が生まれ、全国25都道府県中68校がこれに参加している。鳥根県では16

の高校で500人の留学生が全国から集まって来ている。小中学校でも4校の学校で留学生を募集している。津南町においても、どの学校も魅力的であるのに子どもの人数が少なくなり、存続が危ぶまれてきている。この制度を取り入れ全国から子どもたちを受け入れる検討をしてほしいと思うが、考えを伺う。

教育長 津南町でも導入が可能かどうか様々な角度から検討してみたい。

「女性人口増加」対策は

問 十日町市では今年度「女性

人口の増加」を重要ポイントに絞った新規事業「若者・女性・子育て世代のジモト回帰」を国の地方創生推進交付金を活用し事業化した。津南町は女性人口増加対策に何か考えはあるか。また魚沼市が誘致したコールセンター等女性が働ける企業誘致は考えているか伺う。

集落支援員の配置は

問 費用が10分の1で済む兼任の集落支援員を学区毎に配置し、今後移住・定住に力を入れるのであれば、空き家調査をしっかりとるべきだと思うがいかがか伺う。

町長 集落支援員は当町のよいうな中山間地には大変有効なので、検討して見たいという地域が有ればご相談願いたい。

【地域未来留学】

阿賀黎明高校でも志望倍率が1倍を切り生徒数確保が大きな課題となり全国に募集した所11名の希望者が来ました。十日町の松之山学区も学区を外し全国から募集をしています。

議長あいさつ

臨時会条例制定補正予算

採決結果

一般質問く町政を問う

人事

発議陳情

委員会レポート

建築要望事項

町総合戦略の実現に向けて

問 過去5年間の総合戦略の進捗状況を踏まえ、新たに策定中の戦略の内容と経過は雇用の創出、新しい人の流れにおいて、移住定住のターゲットは新規就農者、自給自足農業と半×だ。そのためには農業の基礎知識、相談窓口、体験、研修や受入体制、農業法人、民間企業や団体の求人、町や国の支援、農地や住居(集合住宅や空き家)、集落の定住条件など一元的な情報の集中発信が必要ではないか。

町長 本年度、総合振興計画並びに総合戦略策定委員を公募し各種団体推薦の町民28名で立ち上げ、班長級以下の町職員と産業・生活・福祉・教育・魅力創造の5チームに分か



滝沢 元一郎 議員



策定中の第6次総合振興計画

れて計画案を作った。その後町長以下課長級職員により検討し、12月中旬に同計画審議会に諮問し、2月に答申、3月議会に上程する。人口減少が急速に進む中、雇用の確保、保育教育の整備を進める。

観光地域づくり課長 各課横断による情報の一元化に取り組み、減少を少しでも防ぎたい。また将来的には観光地域づくり法人が移住定住の一元的な窓口になると思う。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町もデジタル化を急げ

問 新型コロナウイルス感染拡大に伴い国や地方自治体の行政手続きのアナログさが露呈しDX(デジタルトランスフォーメーション)が重要視され、菅内閣ではデジタル庁の設置を予定している。それは国・県と地方の情報システムの違いを是正し30%の運用経費を削減するのが大きな目的だ。町の対応と取組は。

町長 現在県内13の自治体で電算システムの共同利用の研究を行っている。税や保険料情報などシステムを共同化することにより経費削減や利便性の向上ができる。

また、職員のグループウェアと財務会計について新たなシステム導入を令和3年から計画している。これによりハンコレスやマイナンバーによる保険証のオンライン



風巻 光明 議員

電算システム処理を内制化すべき

化で事務の効率化を図る予定。

問 町が外部業者に委託しているシステム管理や電算機事務等の委託料が増加傾向だ。将来的にはスピードアップ、コスト低減、職員のスキルアップのため内部職員による取組が必要とされるがその考えはないか。

町長 今年度、町の電算処理に係る経費は7千5百万円ほどで電算委託料の経常的費用は2千4百万円である。町が直接実施するより高度専門知識を有する他者で実施していく方が効果的だとの規定がある。内部で出来れば大きなメリットであり将来的に電算処理に精通した人を置くのが理想だが、人材確保が難しい。



マイナンバーカードは今後「生活の必需品」

中学校と中等教育学校の並存を



石田 タマエ 議員

津南中等教育学校 存続支援について

問 津南中等教育学校の生徒や保護者が要望している給食（後期生）や交通の利便性についての協議が必要。また、関係市町村との協議も必要でありそれが先ではないか。

町長 給食設備がこれ以上の供給は無理であり今後の課題である。また公共交通についても乗り継ぎなどの利便性を今後協議していく。

問 津南中学校も存続していかねばならないので、中等教育学校に津南の子供たちを単に増やすこともできない。今お金を出して支援することよりも、中等教育学校の在り方を協議することが先ではないか。また、町外の生徒

に税金で支援することは町民の理解が必要。

町長 悩ましい状況である。津南町に高校を存続させることの意味は大きい。住民から理解頂きたい。

ひまわり保育園増築後の定員は適正か

問 上郷保育園・わかば保育園の統合時期が決まっていないのに増築後町内全保育園児分の定員とするのは適正ではないのではないか。

教育長 統合は保護者、地域の理解が必要であり、上郷保育園並びにわかば保育園はまだ統合の理解が得られていない。増築が完了した時点で、上郷・わかば保育園に通っていた子供でもひまわり保育園を希望すればひまわり保育園に通えるようにする。町内3園のどこでも希望する保育園に通える。



存続を切望する
津南中等教育学校

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成で推薦適任)



山田 隆一氏
(芦ヶ崎)

駒澤大学仏教学部卒
平成6年7月より曹洞宗龍昌寺住職
平成15年4月より人権擁護委員



本山 佐利氏
(反里)

明治大学商学部卒
昭和51年4月津南町役場勤務
平成23年3月津南町役場退職
平成28年4月より株式会社竜ヶ窪温泉勤務
平成24年4月より人権擁護委員
平成25年10月より家事調停委員

◆津南町固定資産評価審査委員会委員選任の同意 (全員賛成で同意)



中島 芳文氏
(大井平)

新潟大学農学部卒
昭和48年4月新潟県入庁
平成21年4月十日町地域振興局農業振興部長
平成22年3月新潟県退職
平成26年12月より津南町固定資産評価審査委員会委員

シトラスリボンプロジェクト×津南町



新型コロナウイルス感染症が拡大する中、全国的に、感染されたかたや濃厚接触者、医療従事者やその家族などが、「つわさ話」や「心ない言動」「差別」などにより、心に傷を負ったり、住みづらくなったりする事例が出ています。

このような中、愛媛県の有志グループ「ちよびっと19+」による「シトラスリボンプロジェクト」が生まれました。このプロジェクトは、愛媛県特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけたり掲示したりして、「ただいま」「おかえり」と受け入れられる思いやりある気持ちを広めようというものです。

津南町は、このプロジェクトの趣旨に賛同し、「シトラスリボンプロジェクト」を町中に広めていきます。

議長あいさつ 臨時会条例制定補正予算 採決結果 一般質問と町政を問う 人事 発議陳情 委員会レポート 建築要望事項

発議

拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書の提出について

米国をはじめとする国際社会と連携を強化し、圧力に重点を置いた姿勢を貫きつつ、対話も視野に入れたあらゆる手段を講じて、拉致被害者全員の即時帰国を実現するよう強く要望し意見書を提出。**↓全員賛成で可決**

防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書の提出について

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の終了後も引き続き必要な予算を確保するとともに、地方財政措置の拡充などによる更なる負担軽減を図るなど、防災・減災、国土強靱化対策の充実・強化を推進するよう強く要望し意見書を提出。**↓全員賛成で可決**

日本政府に対し、「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書の提出について

一日も早く日本政府に対し、「核兵器禁止条約」に署名・批准し、また、核保有国や未締結国

議長あいさつ

臨時会、条例制定補正予算

採決結果

一般質問、町政を問う

人事

発議陳情

委員会レポート

建築要望事項

に対して核兵器廃絶のための行動を要請するよう求め意見書を提出。**↓全員賛成で可決**

賛成討論

桑原 義信

核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の賛成討論

私は日本政府に対し、「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書に賛同する。

私は核兵器禁止条約批准まであと一か国と迫ったとき、世界で最初で唯一の被爆国である日本が、是非手を上げてほしいと願った。10月24日、発効要件の50か国に到達した。令和3年1月22日に発効する。歴史的な事である。長い間の被爆者や核兵器をなくす世界の人々の悲願であった。この津南町にも被爆者がいる。44年前私が原水爆禁止中魚沼協議会事務局だったとき、小冊子を作った。「ピカドンでもって真っ黒になってしまふのは嫌だ。兵器としては最悪の兵器だ。二度とあつてはならない」と体験が書かれている。核兵器廃絶を求める運動は大きく広がり発展してきた。津南町は核兵器廃絶平和宣言の町である。世界の流れは核兵器をなくすことである。被爆国としてその先頭に立つことを申し上げ、賛同をお願いする。

陳情

自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情

事実上一律禁止する改正案により、これまで認められてきた農家のタネ取り（自家増殖）の権利が著しく制限されると同時に許諾手続き・費用、もしくは種子を毎年購入しなければならぬなど、日本の農業を支える圧倒的多数の農家にとっては新たな負担が発生することになります。

地域農業や農家、消費者の権利を守り、安定した農作物・食料を確保する観点から、農家の権利を制限する種苗法「改定」を取りやめることを強く求めるよう意見書を提出する事を陳情。**↓国会成立済（不採択）**

新型コロナウイルスによる米価下落対策に関する陳情

新型コロナウイルスの感染拡大により消失した需要減少分について、国が責任をもって「過剰在庫」を市場隔離や備蓄米追

加買入れなどの特別な隔離対策をすることが求められていると考えます。

主食用米から飼料用米等への転換にあたっては、産地交付金などの加算を図り、主食用米並みの所得を生産者に補償することを強く求める陳情。**↓全員賛成で趣旨採択**

老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める陳情

財政検証にあるように、今後とも年金減額が続くならば、年金受給者の生活はますます苦しくなるばかりです。国民の年金不安をなくして老後の安心をつくるためには、何よりも給付削減の仕組みの抜本的な見直しを求められます。

若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、老齢基礎年金等の支給額を改善することを強く求める陳情。**↓全員賛成で採択**

委員会レポート

Commission Report

総文福祉常任委員会

Tapとの懇談会

◆とき 10月20日（火）

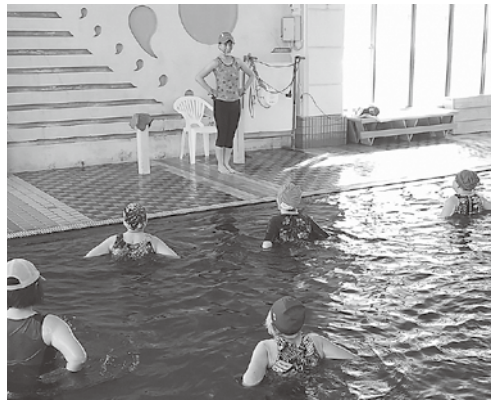
◆ところ 津南町役場会議室

◆内容 津南町の体育施設やクアハウス津南の運営等を町から受託しているNPO法人Tapの活動状況を聞き、更に健康で明るい町づくりを進めることを目的に懇談を行いました。町民の健康増進を目的として様々な活動を展開されていますが、事業によっては採算がとれないものもあり大変苦慮されていると伺いました。特にクアハウス津南の運営では、高齢者の介護予防事業での参加者が年々減少しており、いかに参加者を増やし、介護予防の成果を上げるかが課題となっておりま。

懇談会を終えて

津南町の体育施設の管理を受託して、町民の健康増進や介護予防に精力的な取組をされ感謝申し上げます。介護予防の面では、クアハウス津南を

活用した取組に一定の成果があることから、今後は、町と共により良い方向を探って行かなければならないと感じております。（担当 石田タマエ）



クアハウス津南での介護予防事業

産業建設常任委員会

津南町建築協議会 懇談会

◆とき 11月20日（金）

◆ところ 津南町商工会

◆参加者

津南町建築協議会

津南町議会

10名
9名

◆内容 定期的に開催されている津南町建築協議会との

懇談会が新型コロナウイルス感染症の影響で延期されていたが、令和3年度建築要望事項の検討に合わせ、開催されました。

懇談会では、津南町住宅改修補助金制度の継続での経済効果の一定の評価が見られたことや、再度、令和3年度も事業継続の要望があげられました。制度の継続要望に関して、補助金利用者が再度申込みできないか、子育て支援策として6歳以下の子どもがいる世帯にプラス10万円の拡充、子どもに関する工事、出産増加につながるような施策や、省エネ機器（省エネエアコン・ペレットストーブ・省エネ便器等）の導入に関しての補助金の要望が上がりました。

新型コロナウイルス対策に関して、町独自の対策や感染者へのアフターケアを心配する声をいただきました。

他には、津南町の人口減少対策はどのように行っているのか、出産支援、子育て支援、U・イターン支援の現状、受入れ態勢、収入の確保、冬期間の子育てのための母親グループが遊べる場所の確保、町の所有地（旧農政局住宅跡地）を宅地造成して町外から若者を

呼び込むといった施策を、長野県飯山市の取組も一例に話し合われました。その他、ひまわり保育園増築の今後の予定や、今後、十日町市との合併はあるのかといった議題が上がりました。

懇談会を終えて

人口減少は、どこの地域の活力も減らしてしまう問題です。人がいなければ、子どもも増えませんが、住宅も必要がなくなってしまうと思います。今後ますます人口が増えるような取組をしていかなければなりません。

これ以上人口が減る前に、様々なアイデアで魅力ある津南町にしていく必要性を感じました。（担当 筒井秀樹）



建築協議会との懇談会

建策要望提出

来年度の予算編成に向け、諸事業の要望書を町に提出し、12月2日に回答を得ました。主なものは次のとおりです。

総文福祉常任委員会

〔総務課関係〕

財源の確保について

要望 地方交付税及び地方創生関連予算に加えて電源立地地域対策交付金の総額を削減しないよう国に強く働きかけていただきたい。

回答 地方6団体等と連携しながら地方交付税の総額確保、過疎債等必要額の確保、電源立地地域対策交付金の拡充・恒久化、地方創生関連予算の確保を強く訴えている。

職員の待遇、資質向上について

要望 職員は、津南町職員職務規定を徹底すること。

回答 職員職務規定を説明しており、住民の立場に立った対応に努める。

公共交通体系について

要望 早急に、通勤通学・通院・買い物等、使い勝手のよい公共交通体系の整備と併せて、十日町病院への交通手段の確保に努めること。

回答 利用者の立場に立った公共交通の整備を目指す。また、十日町病院へのバス運行については実証運行を進めながら状況把握をする。



通学バスに利便性を
(過去走っていた中学校専用バス)

〔福祉保健課関係〕

介護事業について

要望 病院及び福祉施設との連携強化を図り、地域包括ケアシステムを円滑に運用すること。また、介護予防では、特に認知症予防に努めること。

回答 地域ケア会議等を通して地域課題の把握、ネットワーキングに努める。また、津南病院においても、認知症の治療、相談を行っている。

〔教育委員会関係〕

保育園再編について

要望 保育園の再編については、住民の理解が深まるよう丁寧な説明を重ね、慎重に進めること。また、保育士確保や保育の質及びサービスの向上に努めること。

回答 保育園再編については、今後も広報紙等で説明を行っていく。保育実習生への声掛け、臨時保育士への働きかけ等を行い、必要な保育士確保に努める。また、県保育士会主催の研修への参加促進を図る。

〔津南病院関係〕

地域医療の充実について

要望 津南病院の将来のあるべき姿を更に明確にし、答申に沿った必要な改革を進め、魚沼医療圏域の中で連携して、人員確保と診療科の再編に努めること。

回答 一層の経営改善を進めると同時に、経営状況を町民に

示し、経営健全化調査分析結果を基に病院のあり方を検討する。魚沼圏域内の連携について議論を進めたい。

駐車場の確保について

要望 来院者用の駐車場の整備を進めること。

回答 病院前の駐車場は混雑している時間帯があることは承知しているが、新たな整備の計画はない。町駐車場を有効に活用していただきたい。

救急医療について

要望 救急医療体制を確保するにあたり、国県に更なる特別交付税の増額を求めること。

回答 国へは、全国自治体病院協議会等のあらゆる組織と連携して、自治体病院の財政支援を要望している。また、県へは、県町村会を通じて要望している。



子どもたちのありがとうメッセージ
(津南病院)

産業建設常任委員会

〔農林振興課関係〕

農林に関する

要望 農林産物の生産拡大と品質向上を図るために、最近の消費動向を把握し、産直を含めた流通販売対策とPR活動の推進、認証米の拡大、土づくりに事業の拡充強化を要望する。

回答 令和2年度から本格的に実施している農業者と観光業者が連携した取組を継続し、消費者ニーズの把握や農産物のPRに取り組みとともに、トップセールスも合わせて実施する。また、JR東日本等との連携など新たな流通販売対策についても検討する。



キャベツの収穫作業

〔観光地域づくり課関係〕

観光地域に関する

要望 観光情報の提供内容や手段・媒体等を検討し、情報発信の強化を図るよう要望する。加えて、旬の野菜情報・取扱飲食店の情報、お土産店の情報等についてもICTを活用し、さらなる情報拡散に努めるよう要望する。

回答 観光情報の提供はパンフレットの送付やホームページを通じてのものが多く、町観光協会ではフェイスブックやツイッターなどのSNSも活用しており、タイムリーな情報の更新を進めていく。引き続き、つなすみチャンネルで津南の魅力を発信し、旬な野菜情報や取扱い飲食店の情報については、つなベジ会と連携をしながら情報発信に努める。

〔建設課関係〕

町道に関する

要望 道路財源確保に努め、町道（生活道路）の改良並びに舗装事業の推進に努力するよう要望する。

回答 必要な予算額の確保に努め、通行量や緊急性・優先

度を検討しながら、改良工事及び維持修繕等計画的に実施する。国に対してもあらゆる機会を通じ財源確保を要望していく。

除雪に関する

要望 町道の除雪体制を強化し、各集落の要望に対処したい。

回答 町道除雪体制については、除雪機械・消雪施設（消雪パイプ）の更新や直営での機械除雪路線と委託路線を適切に組み合わせ対応する。集落の要望については降雪状況によるが、適切な除雪作業ができるよう対応していきたい。



きれいな除雪に感謝

住宅・改修に関する

要望 U・イーターン者の住宅新築・改修に助成し、移住しやすい環境づくりを図っていただきたい。

回答 住宅新築に関する助成事業として、克雪すまいづくり支援事業及び県事業のふるさと越後の家づくり事業の推進を図る。I・Jターン世帯、移住する人を対象に助成する移住・定住促進助成事業は継続して実施する。

〔税務町民課関係〕

環境衛生に関する

要望 津南地域衛生施設組合の燃えるごみ処理について、関係市町村との協議を早急に進め、決定したことについて開示すること。また十日町市に委託する場合は、事前に課題を洗い出し、町民への周知を図ることを要望する。

回答 適切なごみ処理運営については関係市村と協議を重ね令和2年度中に委託時期を決定したいと考えている。



町民登場

津南の誇り ユリ切り花に感謝

藤木 直人さん (米原) 春奈さん

米原台地でユリ農家を営むユリコンテストで金賞受賞の藤木農園の若きご夫婦



自己紹介

平成24年1月 結婚 子ども2人(8才、5才)
令和元年、夢のマイホームを新築しました。

Q.お仕事は?

青森の大学を卒業後、実家のユリ農家を手伝っていました。

3年前に父親から農業経営移譲を受けて、ユリ栽培約10万本、稲作4.7haの規模でがんばっています。

♡(じい、ばあも応援してるよ)

夏場は朝4時から夜まで作業が続く辛い時もあります。

Q.趣味は?

夫婦で海に行き釣りかな?そしてお酒!
冬はグリーンピア津南のスキー教室で指導したり家族でスキーも楽しめます。

Q.町への要望は?

農家は高齢化で人手不足!

冬場の除雪要員なども町が窓口になって人員を派遣してほしい。

若い人が入れるアパートや空き家など町が準備し、色々な人が来たくなるような町にしてほしい。

Q.将来の夢は?

通年通して農業をやりたい。ユリも知名度が上がり需要も増えています。生産量を拡大したい!

町、担当者のお陰で旅館業とコラボでき、マスコミも取り上げてくれました。新潟県花きコンテストで金賞も頂きました。子どもが跡を継いでくれたらと思います。

インタビューの感想

ユリ農園の後継者として自信を持って話す直人さん、共に語る春奈さん、将来の夢に向かって頑張る家族を心から応援したい!!ありがとうございました。

津南中陸上部と指導の滝沢先生



2020年、あなたの十大ニューズは何だったでしょう? 勝手に一番を付けたのは、新潟県駅伝大会における津南中学校陸上部男子の優勝、女子3位の活躍です。豪雪山間地の小さな中学校が新潟県で上位の成績を取ったのです。ごく普通の部活動を勝利に導いたのは、やはり指導の先生方の力と子どもたちの根性の賜物だと思います。指導された滝沢慶太先生にお話を伺いました。「駅伝が好きなんです。みんなが嬉しいし。お弁当を3年間1000食も作ってくれたご家族にも感謝しろと言っています。男女とも頑張ってくれたことが自慢です。力を合わせての勝利、おめでとう、そして感動をありがとう。

編集後記

